

第1章

基本計画策定にあたって

- 1.1 目的と位置付け……2
 - 1.2 計画期間……2
- 1.3 本計画の進め方……3
 - 1.4 本書の構成……5



第1章 基本計画策定にあたって

1.1 目的と位置付け

厚生労働省（以降、厚労省とする）は、平成25（2013）年3月に「新水道ビジョン」を作成・公表し、流山市（以降、本市とする）でも、この理念にあわせた計画をつくる必要が生じました。

厚労省が新しく水道ビジョンをつくりなおした理由は大きく2つです。日本の人口が、平成22（2010）年頃をピークに減ることが予測され、給水人口[※]・給水量の減少にあわせた事業運営に変える必要性が生じたことが一つの理由です。また、近い将来に懸念されている複数の大地震にそなえ、これまでのものを抜本的に見直した危機管理対策の作成が必要となったことがもう一つの理由となります。

一方、本市では、日本の多くの他市町とは異なり、つくばエクスプレスの開通にともない

市の人口が増えており、この点を考慮した計画が必要となりました。

また、平成22（2010）年度に策定した「流山市水道事業基本計画（平成23～32年度）」（以降、前基本計画と呼ぶ）の計画期間も今年度（令和2（2020）年度）で終了します。

このような状況より、厚労省の新水道ビジョンにあわせた「水道ビジョン」の役割も兼ねそなえたものとして、本市の新しい「水道事業基本計画」（以降、本計画と呼ぶ）を策定することとしました。

本市の「流山市総合計画」や、別途検討された「流山市水道事業経営戦略」などの考え方をふまえるとともに、厚労省が策定した「新水道ビジョン」及び「『水道事業ビジョン』作成の手引き」を参考に本計画の検討を進めました。

【給水人口】 給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口

1.2 計画期間

本計画では、将来の本市水道の目指すべき姿を見すえたうえでの当面の事業の計画期間として10年間を設定します。

具体的には、令和3（2021）～令和12

（2030）年度の10年間を対象とし、この期間に、どのような事業を、どのような手順で進めていくかについてとりまとめるものとしません。

計画期間：令和3（2021）～令和12（2030）年度

（計画参考期間：令和13（2031）～令和22（2040）年度）

1.3 本計画の進め方

1.3.1 進め方の基本的な考え方

本計画の策定【PLAN】は、ゴールではなくはじまりです。

- ①まずは計画にそって実行し【DO】
- ②順調に進んでいるか確認し【CHECK】
- ③計画からずれている場合は原因を調べて改善策をつくり【ACTION】
- ④計画を修正し【PLAN】
- ⑤修正した計画にそって実行する【DO】

このような一連のPDCAサイクルをくりかえし続けていくことで、本計画はより良い形

で実行され、将来の目標の達成、ひいては本市の目指すべき水道事業の実現が可能となります。

なお、本計画に書かれていないものであっても、将来の目標の達成や目指すべき水道事業の実現に必要なことと判断される場合は、変更・見直しをおこない、適切に計画に反映させていくものとします。

1.3.2 具体的な手順

短期（毎年度：実績＋進捗）、中期（4年ごと：短期分＋詳細実績＋進捗と乖離時の原因の把握）、長期（最終年度：短期・中期分＋総合評価＋次期計画）の間隔の異なる3段階のPDCAサイクルを回すことにより、本計画の実効性と目標の達成を担保できるようにしま

す。

また、非常時には、平常時とは別の実績データを整理し、次の非常時に活かせるようにします。

それぞれのPDCAサイクルでの整理項目や実施時期、役割などは表1-1のとおりです。



図 1-1 PDCA サイクルのイメージ

表 1-1 PDCA サイクルの整理項目例と実施時期

場面	項目	R3 短期	R4 短期	R5 短期	R6 中期	R7 短期	R8 短期	R9 短期	R10 中期	R11 短期	R12 長期	非常時
平 常 時	基本項目	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	給水申込件数	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	実施方策	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	他部署事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	人口推計値				●				●		●	
	需要予測				●				●		●	
	財政予測				●				●		●	
	資機材単価				●				●		●	
	工事要員				●				●		●	
	大規模計画				●				●		●	
	大口需要者				●				●		●	
	総合評価										●	
	非 常 時	災害詳細										●
被害状況											●	●
復旧状況											●	●
資機材の確保											●	●
薬品・燃料											●	●
救援隊・応援隊											●	●
問題点・課題											●	●
市民情報・苦情 対策費用											●	●



おおたかの森駅南口近隣公園



1.4 本書の構成

本書の各章は、以下のように構成されています。

第1章が本章であり、第2章では本市及び本市水道についてまとめています。第3章で

は現状をまとめ、第4章で目指すべき姿とそのための方策を示し、第5章で財政面の見通しをまとめています。



応急給水栓（おたかの森浄水場）



ペットボトル詰め水道水「流山水」
(令和元年度水道週間啓発ポスター最優秀賞をデザインに採用)

流山市では、高度浄水処理によって、よりおいしくなった水道水を多くの方に知っていただくため、500mlのペットボトル水「流山水」を平成29年度より作製し、流山市のイベント等において、無料配布しています。